

(参考資料)

= バランスシートからみる財務分析 =

平成16年度バランスシートを活用して、以下の財務分析を行います。

(初めて作成したものであることから、前年度以前との比較資料となっております)

1. 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本の総額(有形固定資産)のうち、その整備のために、これまでの世代が既に負担した金額(正味資産)の割合を示すもので、この比率が高いほど将来世代の負担が少ないといえます。

(単位:千円)

項 目	平成16年度
有形固定資産残高 A	171,207,121
正味資産合計 B	97,711,599
社会資本形成世代間負担比率 B/A	57.1%
市民1人あたり将来負担額 (A - B) / 年度末人口	809,244円 90,820人

(人口:年度末住民基本台帳人口~以下同じ)

2. 有形固定資産の行政目的割合

有形固定資産の行政目的割合をみることにより、行政分野ごとの社会資本形成の状態を把握することができます。

(単位:千円)

行 政 目 的	平成16年度	
	金 額	構 成 比
総務費	14,214,379	8.3%
民生費	7,015,755	4.1%
衛生費	5,077,446	3.0%
労働費	188,467	0.1%
農林水産業費	38,197,875	22.3%
商工費	5,016,201	2.9%
土木費	62,019,678	36.2%
消防費	1,602,283	1.0%
教育費	34,435,682	20.1%
その他	3,439,355	2.0%
合 計	171,207,121	100.0%

3. 正味資産構成比率

将来の返済や支出を伴わない正味資産が、資産合計に占める割合を示した指標です。

民間企業の自己資本比率に相当するもので、財務の安定性を評価するために用いられ、この比率が高いほど良いとされています。

(単位:千円)

項 目	平成16年度
資産合計 A	180,286,202
正味資産 B	97,711,599
正味資産構成比率 B/A	54.2%

4. 地方債依存度

これまでの資産形成に占める地方債の割合を計る指標です。

(単位：千円)

項 目	平成16年度
負債・正味資産合計 A	180,286,202
地方債 B	64,806,764
翌年度償還予定額 C	6,388,234
地方債依存度 (B + C) / A	39.5%
市民1人あたり将来返済額 (B + C) / 年度末人口	783,913円

= 市民1人あたりバランスシート(要約版) =

(単位：千円)

借 方	平成16年度
[資 産 の 部]	
1. 有 形 固 定 資 産	1,885
2. 投 資 等	31
(1) 投 資 及 び 出 資 金	13
(2) 貸 付 金	13
(3) 基 金	5
3. 流 動 資 産	69
(1) 現 金 ・ 預 金	61
(2) 未 収 金	8
資 産 合 計	1,985

貸 方	平成16年度
[負 債 の 部]	
1. 固 定 負 債	839
(1) 地 方 債	714
(2) 債 務 負 担 行 為	0
(3) 退 職 給 与 引 当 金	125
2. 流 動 負 債	70
(1) 翌 年 度 償 還 予 定 額	70
(2) 翌 年 度 繰 上 充 用 金	0
負 債 合 計	909
[正 味 資 産 の 部]	
正 味 資 産 合 計	1,076
負 債 ・ 正 味 資 産 合 計	1,985

各 年 度 末 住 民 基 本 台 帳 人 口	90,820 人
-------------------------	----------